

温故創新

豊中らしさを創る

無所属 30歳

豊中市議会議員



25号です。これからは一生懸命頑張りますので、ご支援よろしくお願ひします。

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と、もっと豊中市！

編集・発行／豊中から日本を動かす会

東日本大震災について。

震災によって命を落とされた多くの方々にご冥福をお祈り申し上げますとともに、避難所生活を余儀なくされている方々に、心よりお見舞い申し上げます。

災害に強い街づくりは、私が選挙で掲げた中心的な取組みであり、21号でも取り上げたばかりです。阪神大震災から歳月が経つにつれ、非常食や防災グッズの常備を忘れたり、自主防災組織の結成に消極的であったり、私たちの危機意識は薄れてきました。

今、私たちにできることは何でしょうか。紙面の都合上、すべてを掲載することとは出来ませんが、豊中市のホームページをご覧ください。行政情報を把握し、自分にできる範囲のことを被災地のためにお願い致します。

テレビの前で泣いていても被災された方々は救われません。震災がなければ問題なく開催されていた行事を、不謹慎だと批判しても被災地の復興は進みません。

復興支援は長期に及びますので、募金をして終わり、救援物資を送って終わりではなく、継続的なご支援をよろしくお願ひします。私たちはこれをきっかけに危機意識をもち、自主防災の取組みを継続し、減災社会の実現につなげていきます。

豊中出身、村井県知事。

このたびの震災で最も大きな被害を受けた宮城県。その復興の舵をとっている村井県知事は、豊中市のご出身で中豊島小学校、第四中学校を卒業されています。豊中市にご縁のある身近な方が、最前線で頑張っておられます。私たちも被災地のみなさんの一日も早い生活の再建をお祈りし、そのための応援をしていきましょう。

これから震災にぞなえて。

温故創新21号より抜粋して再掲します。人と未来防災センターで学んだ一つの実話です。

少女は地震で崩れた家の中から自力で這い出しましたが、目前に火事が迫ってきました。がれきの下には、横で寝ていたお姉ちゃんがあります。「お姉ちゃん、お姉ちゃん！」と少女は必死で叫びます。「もういいから、あんたは逃げて。」お姉ちゃんの最後の言葉だったそうです。

避けることができない震災に対して、私たちにできることは何でしょうか。災害が起った時に被害を減らすという、減災社会を実現することが求められています。

私たちが家庭でできることは、非常用品の常備、家屋の補強、家具の固定などです。阪神・淡路大震災における

死因の8割以上は、圧死・窒息死です。自分の命は自分で守ることができません。先述の少女のお姉ちゃんは、備えさえあれば、救えた命かも知れないのです。ところで、少女は一人で逃げることはできたのでしょうか。ここからは私の推測ですが、きつと近所の人に連れられて、安全なところへ避難できたのだと思います。少女のことを知っている近所の人がいなかったら、少女はその場を離れず、火事に巻き込まれていたかもしれません。

減災社会を実現するために必要なことにもかわらず、私たちの生活の中で希薄になりつつあることは、「近所付き合い」ではないでしょうか。顔を知っているから、挨拶を交わしたことがあるから、名前や家族構成を知っているからこそ、非常事態に他人同士でもお互いを信用し、助け合うことができるのだと思います。プライバシーが優先される現代社会だからこそ、近所付き合いを大切にしなければ、非常事態にパニックになり、被害を減らすことはできません。

※ご意見ご感想をお聞かせください。

TEL:06-7178-7785

(携帯へ転送します)

FAX:06-6871-0632

(後援会事務所)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

将来志向の政治へ。

「今年の決算を黒字にする」ためにその場しのぎの行政運営を続けていてはいけません。そして、市長の提案を鵜呑みにするだけの議会政治では、いつまでもたっても将来世代に負担を先送りすることになります。

五年後の黒字のために、今年が赤字であっても、市民のみなさんの理解が得られると思います。将来に不安を残すのではなく、向こう50年を見据えた政治を目指します。そのためには職員体制や待遇の見直しが急務です。

4年間で道筋をつけてきた財政再建を早期に実現し、災害に備えて毎年一定額を積み立てていく財政構造に転換していきます。そして、NPOや地域団体との協働によって税を有効活用していきます。

皆さんとともに、子や孫の世代までを見通して、豊中の将来を創っていきたいと思います。



スポーツ・音楽都市へ。

豊中市は高校スポーツ（野球、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール）の発祥地であり、こうした史実をまちづくりに活用します。文武両道の子どもを育み、市民の健康増進のため、スポーツに力を入れます。他市にない武道館をもっとPRし、日本屈指のレベルにあるチアリーディングの裾野を広げる後押しをしていきます。

大阪音楽大学があり、センチュリー交響楽団の本拠地でもある豊中市は、音楽家に恵まれています。また、合唱や吹奏楽といった音楽に親しむ市民力を活かし、音楽祭の開催など賑わいのある町を創ります。音楽とスポーツのコラボである高校生ダンスフェスタは豊中市が誇る指折りの集客事業です。スポーツや音楽をつうじて、子どもの健全育成を果たし、若者が集う活気あるまちづくりを進めていきます。

緑と水の環境都市へ。

豊中市歌の一節にあるように以前は「緑の都、豊中市」とよばれていました。しかし、現在の豊中市は市街地化が進み、私たちの周りから緑が消えつつあります。緑の都を取り戻すためには校庭や屋上、壁面の緑化を進めていく必要があります。また、荒れている緑地帯を整備していき、癒しの空間を創出していきます。

上下水道は生活に不可欠なインフラです。3年後の豊中市において、損壊する可能性の高い敷設後30年以上の下水道管は、全体の71%となり、下水道管の長寿命化が急務です。またゲリラ豪雨による浸水対策も必要です。また、生活用水の確保は危機管理の面からもたいへん重要になってきます。安心して暮らせるまちづくりのため、緑と水をテーマに環境政策を進め、住環境を良くしていきます。

教育文化都市を再興。

教育文化都市と言われて久しい豊中市ですが、近年では近隣市の追随を許し、その地位は低下しています。機関の異なる幼保・小の連携を強化し、小中連携から一貫教育へ順次移行し、そして目指すのは中高の連携です。豊中から世界に羽ばたく人材を育成するため、教育の連携強化に取り組みます。

豊中市は手塚治虫氏の生誕地であり、北大路魯山人氏が大阪星岡茶寮を開いた史実を活かし、漫画や美食を通じて、人が集まる工夫をします。

また、豊中市の救命力世界一宣言に象徴される市民力をPRし、市民文化の花咲くまちづくりを目指します。教育と文化を充実させることで、「豊中に行きたい」「豊中に住みたい」と思える「豊中らしさ」を創っていきます。そして、「豊中市民でよかった」と誇れる教育文化都市を再興します。

活動ブログ配信中

略歴

- 市立 しんでん幼稚園
- 市立 南丘小学校
- 市立 第九中学校
- 府立 北野高等学校
- 同志社大学法学部政治学科
- 池田市長インターンシップ修了
- 茨木市議インターンシップ修了
- 箕面市公募委員（公共下水道）
- 大阪府信連職員（JAバンク大阪）

現在 無所属

2007年初当選1期目

空港問題特別委員会副委員長、議会改革検討委員などを歴任

豊中市議会議員（最年少30才）

総務常任委員会

行財政改革・地方分権特別委員会

主なボランティア活動

- 豊中ラグビースクール
- 豊中地区BBS会（更生保護活動）
- 豊中青年会議所

松岡あきみちを応援していただける、ミカタを募集しております！

ふりがな 氏名 _____

電話番号 _____

住所 _____

E-mail _____